

第二中学校駐輪場修繕業務

仕 様 書

宮 城 県 名 取 市

仕 様 書

1. 工事名称
第二中学校駐輪場修繕業務
2. 工事場所
名取市高館吉田字吉合 90
3. 工事範囲
本工事の施工範囲は、本仕様書及び設計図に示す範囲とする。
4. 別途工事等
なし
5. 特記事項
(1) 工事期間内の完成に向け、工程管理ができること。
(2) 児童の安全対策等については万全を期すこと。
(3) 学校行事との調整を図ること。
6. 工事期間
契約締結日の翌日から令和8年9月11日までとする。
(諸検査の合格をもって期日まで引き渡しのこと。)
7. 入札日時・入札条件・契約条件・設計図書等に関する質問等
『入札公告』による
8. 設計図書
本仕様書 1 式
設計図 1 部 (表紙共 全 9 枚)
入札公告 1 式
9. 設計図書の優先順位
設計図書の優先順位は、原則として次のとおりとする。
第 1 位 入札公告及び質問回答書
第 2 位 仕様書
第 3 位 設計図
第 4 位 共通仕様書 (当該年度における最新版)
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「標準仕様書」「工事監理指針」
第 5 位 公共規格及びこれに準ずる規格
10. 工事計画及び施工図
施工計画書・各種工事の施工図は事前に提出し、監督員の承認を得た後に施工すること。
11. 官公署への手続き
工事の施工に必要な官公署・その他への手続き・届出等は速やかに行い、それに伴う費用は全て請負者の負担とする。

1 2. 設計変更等

仕様書・設計図等に食い違いがあった場合は、速やかに監督員に報告、協議しこれを行い軽微なものは工事費の増は行なわない。また、設計図書に明記なくとも、当然常識的に行うべきこと、あるいは現場の納まり、その他の理由で設計内容を変更する場合も同様とする。

なお、設計変更、設計内容の変更に該当する場合は、市の設計書にて変更額を算出し、その設計額に当初請負額の請差率を乗じた金額で工事請負変更契約を行うものとする。

1 3. 工事の安全対策

- (1) 工事にあたり第三者・隣地並びに公道等に影響を与えぬよう、十分配慮すること。
工事用部材搬入についても経路を定め、工事安全に十分務めること。万一損傷を与えた場合は、請負者の責任と金銭負担において速やかに補償、または原形復旧とすること。
- (2) 請負業者は労災・火災その他の賠償責任保険等に参加することとし、写しを市へ提出すること。
- (3) 工事の安全対策、車両進入等他にも十分注意すること。
- (4) 児童及び学校関係者に対する安全対策は十分な検討の上、施工すること。

1 4. 現場組織の編成

- (1) 請負者は本工事を行うにあたって、十分な現場組織を編成しなければならない。
- (2) 工事の現場代理人および主任技術者は、関係法令に定める資格を有し、現場代理人の経験があるものとする。
- (3) 総括安全衛生責任者は、安全管理の組織作りを行うこと。

1 5. 検査

- (1) 完成検査は、自社において所定の検査を完了した後、名取市の発注担当課による検査、工事検査監による完成検査を受けるものとする。
- (2) 工事完了後に、名取市が何らかの理由で検査・試験・測定等を行う場合、会計検査を受ける場合等において請負業者はこれに協力すること。

1 6. 工事現場における注意事項

- (1) 事前調査
工事に先立ち施設等の事前調査を密に行い、後日問題が生じないよう配慮すること。また、配管配線等の位置、構造、老朽度を調査確認し、支障があるものについては、保安・維持に努めること。なお、これに要する費用は本工事に含むものとする。
- (2) 苦情等の処理
工事による苦情・建物の損傷・その他の問題が生じた場合は、全て請負者の責任において補償すること。
- (3) 労働者への安全対策
労働者への労働災害防止と安全衛生を図るため、始業時に朝礼、ミーティング等を行い、労働者の安全への意識向上に努めること。
- (4) 下請業者
工事請負者は、地元名取市内から下請業者等の採用について十分配慮すること。
なお、下請業者等は市の承認を得た後、決定すること。
- (5) 請負者および下請負人等が、暴力団および暴力団関係者による不当介入を受けたときは速やかに市に報告、警察に通報を行うとともに捜査上必要な協力を行うこと。

17. 積算基準及び設計単価は、令和8年3月の基準及び単価としている。

18. 週休2日モデル工事の適用の有無

- (1) 本工事は、週休2日モデル工事の対象である。
週休2日工事の対象工事の場合は名取市「週休2日モデル工事」実施要領にて行うこととする。
- (2) 本工事の、週休2日モデル工事の種別は、現場閉所型である。
- (3) 本工事の週休2日工事の区分は、当初発注において、補正係数なしで積算しており、「月単位の週休2日」、「完全週休2日」に取り組む場合は、工事着手前に受発注者間で協議の上、週休2日の区分を決定することとする。協議により、「月単位の週休2日」又は「完全週休2日」に取り組み、達成した場合は、精算変更時に達成した区分に応じた週休2日の補正係数に変更する。

19. 現場代理人の常駐義務緩和について（名取市ホームページ参照）

- (1) 現場代理人の常駐義務の緩和措置についての該当工事である。
- (2) 現場代理人が兼務する場合は下記のとおりとする。
 - ・ 工事担当課に届出書を提出すること。
 - ・ 兼務する名取市が発注する工事であること。
 - ・ 工事現場の相互距離は自動車で行き来可能な経路で10km程度までとし、工事現場の運営・安全管理等に支障が無いこと。

20. 主任技術者の専任要件の緩和措置について（名取市ホームページ参照）

- (1) 主任技術者の専任要件の緩和措置についての該当工事である。
- (2) 主任技術者が兼務する場合は下記のとおりとする。
 - ・ 工事担当課に届出書を提出すること。
 - ・ 兼務する工事は国、県または市町村が発注する工事であること。
 - ・ 工事現場の相互距離は自動車で行き来可能な経路で10km程度までとし、工事現場の運営・安全管理等に支障が無いこと。

位置図



* 電子地形図25000 (国土地理院) を加工して作成
<https://maps.gsi.go.jp/#15/38.184110/140.864468/&base=pale&ls=pale&disp=1&vs=c1g1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f0>

第二中学校：名取市高館吉田字吉合90

第二中学校駐輪場修繕業務

参考金抜き内訳書

【 取扱上の注意事項 】

本設計書に記載されている数量は参考数量であり、本設計書は工事請負契約に記載されている設計図書には含まれない。

第二中学校駐輪場改築工事

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
	第二中学校駐輪場改修工事						
	指定仮設		1.0	式			
A	建築工事		1.0	式			
	計						

第二中学校駐輪場改築工事

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
	指定仮設						
	仮囲い	メッシュシート 3カ月	57.2	m			
	キャスターゲート	W6000×H1800 1カ月	2.0	箇所			
	交通誘導員		7.0	人			
	計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単 位	単 価	価 格	摘 要
2	駐輪場改修工事						
	【撤去】						
	下地処理 既存筋交い撤去		42	本			
	既存屋根・棟撤去		327	m2			
	頁計						
	計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単 位	単 価	価 格	摘 要
	【柱・梁改修】						
	柱根元腐食部 MMAアラミ繊維補修		3.0	本			
	中央ベースプレート MMA成形補修		20	か所			
	梁腐食部 MMA成形補修		132	m			
	【屋根改修】						
	新規波板葺 ステンレス傘ビス止め		327	m2			
	ハ棟設置		64.8	m			
	上リケラハ設置		19.8	m			
	軒下鉄板包み設置		132	m			
	残材処理・運搬		1	式			
	頁計						
	計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単 位	単 価	価 格	摘 要
	【筋交い改修】						
	ターンバックル取付	M10×2565mm	24	本			
	ターンバックル取付	M10×3975mm	18	本			
	【塗装改修】						
	下地ケレン・研り処理		861				
	錆止め・ウレタン塗装		1,144				
	頁計						
	計						

第二中学校駐輪場修繕業務

図面リスト	
図面番号	図面名称【建築図】
A - 01	特記仕様書(1)
A - 02	特記仕様書(2)
A - 03	案内図、配置図兼仮設計図
A - 04	平面図
A - 05	【撤去】駐輪場詳細図(1)
A - 06	【撤去】駐輪場詳細図(2)
A - 07	【改修】駐輪場詳細図(1)
A - 08	【改修】駐輪場詳細図(2)

令和8年3月

 **株式会社桂設計**

建築改修工事特記仕様書【令和7年4月版】

I 工事概要

Table with 2 columns: No. (1-6), Item Name (e.g., 工事番号・名称, 工事場所, 用途地域等), and Description (e.g., 第二中学校駐輪場修繕業務, 宮城県名取市高館吉田字吉合90番地).

7 別途工事

8 その他

9 特記仕様書の範囲

特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。
・構造特記仕様書 ・外構工事特記仕様書 ・植栽工事特記仕様書
・解体工事特記仕様書 ・電気設備工事特記仕様書 ・機械設備工事特記仕様書

II 建築工事仕様

- 1. 共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。
ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。
なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。
2. 特記仕様
1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と※印のついた場合は、共に適用する。
3) 特記事項に記載のく、()及び[]内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章 項目 特記事項

Main specification table with 3 columns: Chapter/Item (e.g., 1 一般事項, 2 適用基準等), Description, and Reference (e.g., <1.2.1>, <1.1.4>).

⑥ 電気保安

⑦ 事故報告

⑧ 建築材料等

9. 室内の空気中の化学物質濃度の測定

⑩ 特別な材料の工法

Table for hazardous materials and special materials. Columns: 種類 (Type), 受入施設名 (Receiving Facility Name), 所在地 (Location), 備考 (Remarks). Includes sections for asbestos, PCB, and special materials.

- 11 建築基準法による風圧力等の指定
12 設計GL
13 施工調査
14 技能士
15 完成図等
16 完成写真
17 設備工事との取合い
18 火災保険等
19 仮囲い
20 交通誘導員
21 揚重機械器具

Table for construction methods and standards. Columns: 適用工事 (Applicable Work), 建築基準法の指定 (Specification of Building Standards), 施工数量調査 (Construction Quantity Survey), 外壁改修工事 (Exterior Wall Renovation Work), etc.

- 4 工事表示板
5 足場等
6 養生
7 仮設間仕切り
8 監督職員事務所
9 工事用水
10 工事用電力
11 工事用通路

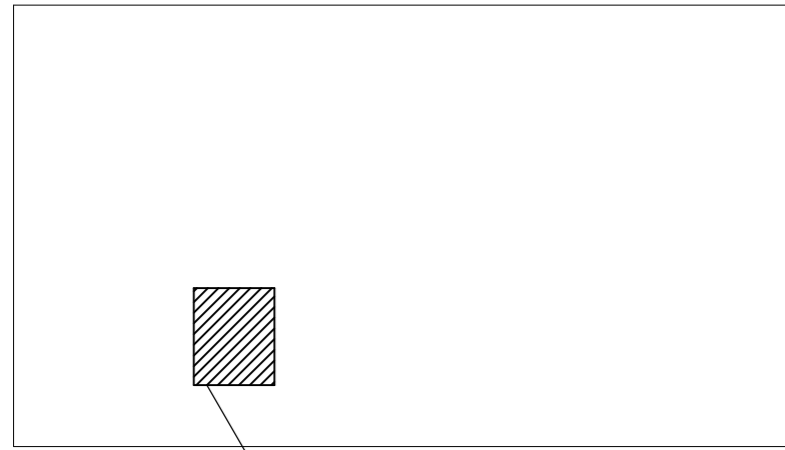
Table for safety and site management. Columns: 設置する (To be installed), 設置しない (Not to be installed), 外部足場 (External Scaffolding), 防護シート (Protective Sheet), etc.

7 塗装 改修 工事	① 材料	<p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 <7.1.3> ※F☆☆☆☆</p> <p>防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)</p>																																																																
	② 下地調整	<p>塗替えR種の場合の既存塗膜の除去範囲 <7.2.1~7> ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す ・図示による</p> <p>既存錆止め塗料の鉛含有量調査 ・行う (箇所) ○行わない</p> <p>下地調整</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地面の種類</th> <th>下地調整の種別</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>※不透明塗料塗りの場合はR種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※R種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面</td> <td>※R種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)</td> <td>※R種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びせつこうプaster面</td> <td>※R種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外)</td> <td>※R種</td> <td>・行う</td> </tr> <tr> <td>ALCパネル面</td> <td></td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・RA種 ・RC種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP)</td> <td>・RB種 ・RC種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及びその他ボード面</td> <td>※R種</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	下地面の種類	下地調整の種別	ひび割れ部の補修	木部	※不透明塗料塗りの場合はR種	-	鉄鋼面	※R種	-	垂鉛めっき鋼面	※R種	-	垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	※R種	-	モルタル面及びせつこうプaster面	※R種	・行う ・行わない	コンクリート面 (DP以外)	※R種	・行う	ALCパネル面		・行わない	押出成形セメント板面	・RA種 ・RC種	・行う ・行わない	コンクリート面 (DP)	・RB種 ・RC種	・行う ・行わない	せつこうボード面及びその他ボード面	※R種	-																															
下地面の種類	下地調整の種別	ひび割れ部の補修																																																																
木部	※不透明塗料塗りの場合はR種	-																																																																
鉄鋼面	※R種	-																																																																
垂鉛めっき鋼面	※R種	-																																																																
垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	※R種	-																																																																
モルタル面及びせつこうプaster面	※R種	・行う ・行わない																																																																
コンクリート面 (DP以外)	※R種	・行う																																																																
ALCパネル面		・行わない																																																																
押出成形セメント板面	・RA種 ・RC種	・行う ・行わない																																																																
コンクリート面 (DP)	・RB種 ・RC種	・行う ・行わない																																																																
せつこうボード面及びその他ボード面	※R種	-																																																																
③ 素地ごしらえ	<p><7.3.2~7></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地面等</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合 ※A種・B種 透明塗料塗りの場合 ※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP以外)</td> <td>※C種・A種・B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP)</td> <td>※B種・A種・C種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面</td> <td>・A種・B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びせつこうプaster面</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)</td> <td>・A種・B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DPのみ)</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及びその他ボード面</td> <td>目地: 継目処理工法 ※A種・B種 目地: 継目処理工法以外 ※B種・A種</td> </tr> </tbody> </table>	下地面等	種別	木部	不透明塗料塗りの場合 ※A種・B種 透明塗料塗りの場合 ※B種・A種	鉄鋼面 (DP以外)	※C種・A種・B種	鉄鋼面 (DP)	※B種・A種・C種	垂鉛めっき鋼面	・A種・B種	モルタル面及びせつこうプaster面	※B種・A種	コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面	※B種・A種	押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)	・A種・B種	コンクリート面 (DPのみ)	※B種・A種	せつこうボード面及びその他ボード面	目地: 継目処理工法 ※A種・B種 目地: 継目処理工法以外 ※B種・A種																																													
下地面等	種別																																																																	
木部	不透明塗料塗りの場合 ※A種・B種 透明塗料塗りの場合 ※B種・A種																																																																	
鉄鋼面 (DP以外)	※C種・A種・B種																																																																	
鉄鋼面 (DP)	※B種・A種・C種																																																																	
垂鉛めっき鋼面	・A種・B種																																																																	
モルタル面及びせつこうプaster面	※B種・A種																																																																	
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面	※B種・A種																																																																	
押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)	・A種・B種																																																																	
コンクリート面 (DPのみ)	※B種・A種																																																																	
せつこうボード面及びその他ボード面	目地: 継目処理工法 ※A種・B種 目地: 継目処理工法以外 ※B種・A種																																																																	
④ 錆止め塗料塗り	<p>錆止め塗料塗りの種別 <7.4.2、3></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>素地面</th> <th>塗装の種類</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">鉄鋼面</td> <td>SOP (工程の種類別は表7.4.3)</td> <td>塗替え A種</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EP-G (工程の種類別は表7.4.3)</td> <td>新規見え掛り A種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP (工程の種類別は表7.4.4)</td> <td>塗替え ※B種・A種</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ ※B種・A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">垂鉛めっき鋼面</td> <td>SOP (工程の種類別は表7.4.5)</td> <td>塗替え ※A種・B種</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EP-G (工程の種類別は表7.4.5)</td> <td>新製鋼製建具等規 其他 ※A種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>塗替え C種</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP (工程の種類別は表7.4.6)</td> <td>新製鋼製建具等規 其他 C種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>塗替え B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>新製鋼製建具等規 其他 B種</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類	鉄鋼面	SOP (工程の種類別は表7.4.3)	塗替え A種	※C種	EP-G (工程の種類別は表7.4.3)	新規見え掛り A種	※A種	新規見え隠れ A種	※B種	DP (工程の種類別は表7.4.4)	塗替え ※B種・A種	※C種	新規見え隠れ ※B種・A種	※B種	垂鉛めっき鋼面	SOP (工程の種類別は表7.4.5)	塗替え ※A種・B種	※C種	EP-G (工程の種類別は表7.4.5)	新製鋼製建具等規 其他 ※A種	※A種	塗替え C種	※C種	DP (工程の種類別は表7.4.6)	新製鋼製建具等規 其他 C種	※A種	塗替え B種	※B種	新製鋼製建具等規 其他 B種	-																															
素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類																																																															
鉄鋼面	SOP (工程の種類別は表7.4.3)	塗替え A種	※C種																																																															
	EP-G (工程の種類別は表7.4.3)	新規見え掛り A種	※A種																																																															
		新規見え隠れ A種	※B種																																																															
	DP (工程の種類別は表7.4.4)	塗替え ※B種・A種	※C種																																																															
		新規見え隠れ ※B種・A種	※B種																																																															
	垂鉛めっき鋼面	SOP (工程の種類別は表7.4.5)	塗替え ※A種・B種	※C種																																																														
EP-G (工程の種類別は表7.4.5)		新製鋼製建具等規 其他 ※A種	※A種																																																															
		塗替え C種	※C種																																																															
DP (工程の種類別は表7.4.6)		新製鋼製建具等規 其他 C種	※A種																																																															
		塗替え B種	※B種																																																															
新製鋼製建具等規 其他 B種		-																																																																
⑤ 塗装	<p><7.5.2~7.12.2></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) 種類 ※1種・2種</td> <td>木部屋外</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・クリヤラッカー塗り (CL)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">○耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>上塗り等級 (3) 級</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面</td> <td>上塗り等級 () 級</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・A-1種 ・B-1種 ・C-1種</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の木部</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の垂鉛めっき面</td> <td>※A種</td> <td>※A種・B種</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)</td> <td>※B種</td> <td>・A種・B種</td> </tr> <tr> <td>・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>・ステイン塗り</td> <td></td> <td>・ビグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り (OS)</td> </tr> <tr> <td>・木材保護塗料塗り (WP)</td> <td></td> <td>※B種・A種 ※B種・A種</td> </tr> </tbody> </table>	塗装の種類	塗装面	工程		塗替え	新規	・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) 種類 ※1種・2種	木部屋外	※B種	※A種	木部屋内	※B種	※B種	・クリヤラッカー塗り (CL)	鉄鋼面	※B種	※B種・A種	垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種	※B種	・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	※B種	※B種・A種	垂鉛めっき鋼面	※B種	※B種	○耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	上塗り等級 (3) 級	-	垂鉛めっき鋼面	上塗り等級 () 級	-	コンクリート面及び押出成形セメント板面		・A-1種 ・B-1種 ・C-1種	・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	※B種	※B種・A種	屋内の木部	※B種	※A種	屋内の鉄鋼面	※B種	※B種・A種	屋内の垂鉛めっき面	※A種	※A種・B種	・合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	※B種	※B種・A種	・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	※B種	・A種・B種	・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	※B種	※B種・A種	・ステイン塗り		・ビグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り (OS)	・木材保護塗料塗り (WP)		※B種・A種 ※B種・A種
塗装の種類	塗装面			工程																																																														
		塗替え	新規																																																															
・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) 種類 ※1種・2種	木部屋外	※B種	※A種																																																															
	木部屋内	※B種	※B種																																																															
・クリヤラッカー塗り (CL)	鉄鋼面	※B種	※B種・A種																																																															
	垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種	※B種																																																															
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	※B種	※B種・A種																																																															
	垂鉛めっき鋼面	※B種	※B種																																																															
○耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	上塗り等級 (3) 級	-																																																															
	垂鉛めっき鋼面	上塗り等級 () 級	-																																																															
	コンクリート面及び押出成形セメント板面		・A-1種 ・B-1種 ・C-1種																																																															
・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	※B種	※B種・A種																																																															
	屋内の木部	※B種	※A種																																																															
	屋内の鉄鋼面	※B種	※B種・A種																																																															
	屋内の垂鉛めっき面	※A種	※A種・B種																																																															
	・合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	※B種	※B種・A種																																																															
	・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	※B種	・A種・B種																																																															
・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	※B種	※B種・A種																																																																
・ステイン塗り		・ビグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り (OS)																																																																
・木材保護塗料塗り (WP)		※B種・A種 ※B種・A種																																																																

つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、せつこうプaster面、せつこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしきり止め	<p>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、せつこうプaster面、せつこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしきり止め</p> <p>※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしきり止めシテとする</p>
合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしきり止め	<p>合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしきり止め</p> <p>※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしきり止めシテとする</p>
クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用	<p>クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用</p> <p>・適用しない</p> <p>・適用する (着色剤: 溶剤系着色剤 油性染料着色剤)</p> <p>ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用</p> <p>・適用する</p> <p>・適用しない</p> <p>オイルステイン塗りの工程等</p>

8-3 鉄骨工事	<p>① 鉄骨製作工場 <8.1.5></p> <p>鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 () グレード以上 ○監督職員の承諾する工場</p>																		
2. 鉄骨製作工場における施工管理技術者	<p><8.1.6></p> <p>※配置する</p>																		
3. 鋼材	<p><8.2.8></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所 (主要な部分)</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JISによる</td> </tr> </tbody> </table>	種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規格			・JISによる			・JISによる			・JISによる			・JISによる			・JISによる
種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規格																	
		・JISによる																	
		・JISによる																	
		・JISによる																	
		・JISによる																	
		・JISによる																	
4. 高力ボルト	<p><8.2.9><8.13.2><8.14.2></p> <p>高力ボルトの種類 ※トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による ()</p> <p>摩擦面の処理方法 ・改修標準仕様書8.14.2(1)による。</p> <p>・すべり試験の実施 ・すべり係数試験 ・すべり耐力試験 すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(4)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。</p>																		
5. 普通ボルト	<p><8.13.2>(7.2.3)</p> <p>ボルト及びナットの材料 ・標準仕様書 表7.2.3 (JIS附属書品) 又は次による ボルトの規格は、JIS B 1180とする。 ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。 ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。 ナットの規格は、JIS B 1181とする。 ナットの種類は、六角ナット-Cとし、材料は鋼とする。</p> <p>座金 ※JIS B 1256による</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による ()</p> <p>母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径 ※ねじの呼び径+1.0mm</p>																		
6. 溶融亜鉛めっき高力ボルト	<p><8.13.2><8.14.2><8.20.5></p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による ()</p> <p>摩擦面の処理方法 ・プラスト処理 (表面粗度50 μm Rz 以上) ・りん酸塩処理</p> <p>・すべり試験の実施 ・すべり係数試験 ・すべり耐力試験 すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.20.5(1)(7)又は(4)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。</p>																		
7. アンカーボルト	<p>(7.2.4) (7.3.2)</p> <p>・構造用アンカーボルト種類 ・ABR400 ・ABR490</p> <p>・建方用アンカーボルト種類 ・SS400</p> <p>アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による</p> <p>・標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト適用箇所 ・図示による ()</p> <p>種類 ・SS400</p> <p>アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による</p>																		
8. 溶接材料	<p><8.2.10></p> <p>溶接材料 ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による</p>																		
9. スタッド	<p><8.2.11></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ (mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・22</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所	・16			・19			・22								
呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所																	
・16																			
・19																			
・22																			
10. 製作精度	<p><8.13.3></p> <p>鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による</p> <p>アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による</p>																		

11. 仮組	<p>仮組を行う範囲 ・図示による ()</p>	<8.13.10>																																	
12. 溶接作業を行う技能資格者技量付加試験	<p>試験の要領 ・図示による ()</p>	<8.15.3>																																	
13. 溶接接合	<p>開先の形状 ・図示による ()</p> <p>・鋼製エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・図示による ()</p> <p>切断範囲 ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。</p> <p>切断面の仕上げ ・改修標準仕様書8.15.7(1)(a)(b)②による</p> <p>スカロップの形状 ・図示による ()</p>	<8.15.4><8.15.7>																																	
14. 入熱、バスの温度の溶接条件	<p>鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による ()</p> <p>適用箇所 ・図示による ()</p> <p>・柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部</p>	<8.15.7><8.15.10>																																	
15. 溶接部の試験	<p>平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違いの寸法の検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査②</p> <p>JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り検査は、超音波探傷試験の抜き取り検査と同とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。</p> <p>完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数</p>	<8.15.12>																																	
16. 錆止め塗装	<p>塗料の範囲 <7.3.3><8.17.2、4></p> <p>耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による ()</p> <p>耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1)による ・図示による ()</p> <p>塗料の種類 ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・耐火被覆材が接着する面の塗料の種類</p>	<8.17.2><8.17.4>																																	
17. 耐火被覆	<p><8.18.2>~<8.18.8></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・耐火材吹付け</td> <td>乾式吹付けロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>半乾式吹付けロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>湿式ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐火板張り</td> <td>繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火材巻付け</td> <td>高断熱ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ラス張りモルタル塗り</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火塗料</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	・耐火材吹付け	乾式吹付けロックウール			半乾式吹付けロックウール			湿式ロックウール			・耐火板張り	繊維混入けい酸カルシウム板						・耐火材巻付け	高断熱ロックウール			・ラス張りモルタル塗り	-			・耐火塗料				<8.18.2>~<8.18.8>
種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																
・耐火材吹付け	乾式吹付けロックウール																																		
	半乾式吹付けロックウール																																		
	湿式ロックウール																																		
・耐火板張り	繊維混入けい酸カルシウム板																																		
・耐火材巻付け	高断熱ロックウール																																		
・ラス張りモルタル塗り	-																																		
・耐火塗料																																			
18. アンカーボルト等の設置等	<p>構造用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3) ・図示による ()</p> <p>構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ・図示による ()</p> <p>建方用アンカーボルトの形状及び寸法 ・図示による ()</p> <p>建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種類 ・A種 ・B種</p> <p>柱底均しモルタル厚さ及び工法の種類 厚さ 種類 ※A種 ・B種</p>	<7.10.3>																																	
⑨ 鉄骨プレース設置後の仕上げ	<p>○図示による ()</p>	<8.22.9>																																	

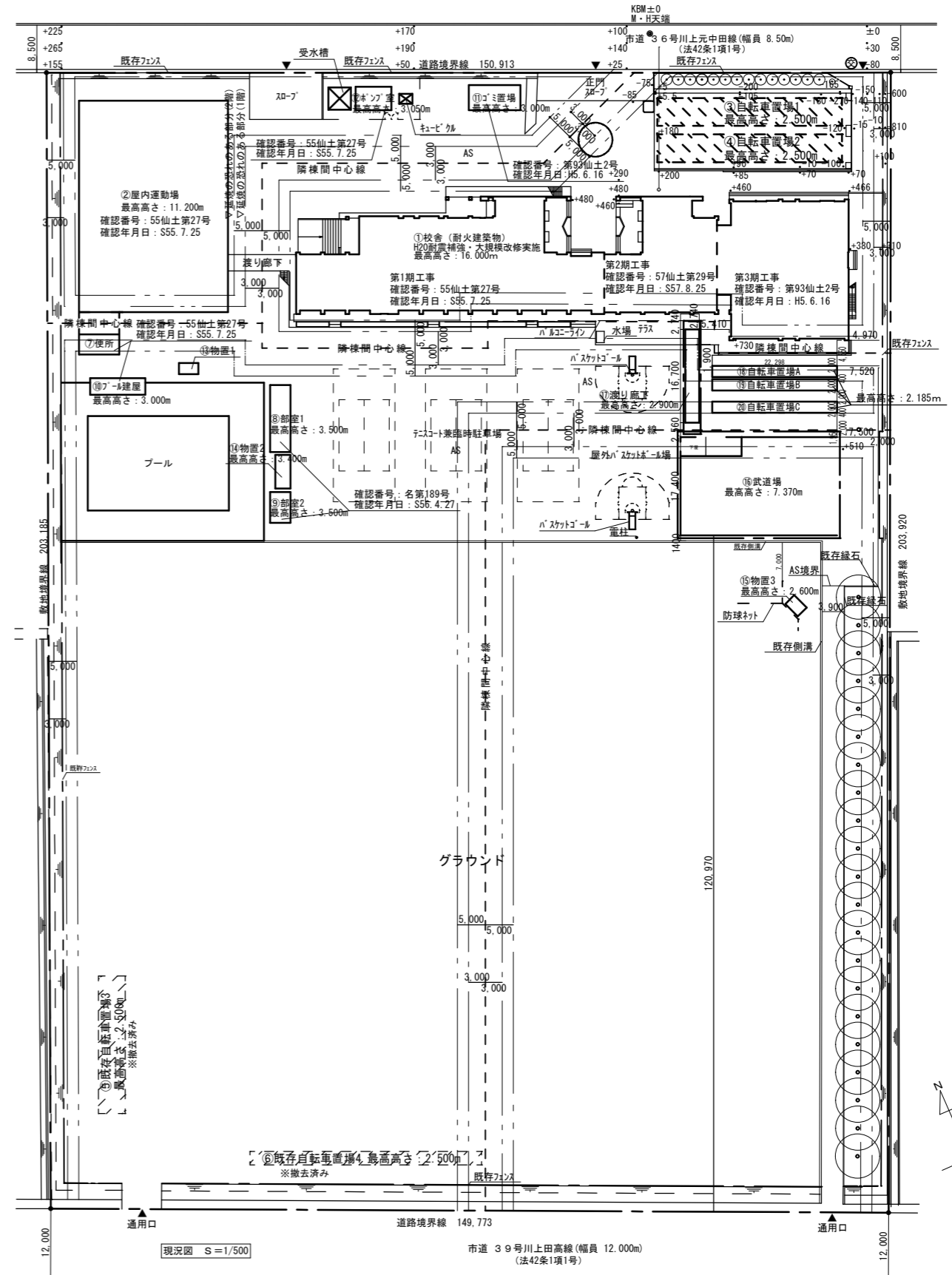


工事場所：名取市高館吉田字吉合90番地

案内図

【敷地内建築物面積表】

記号	施設名	建築面積 (m ²)	床面積 (m ²)	確認番号	確認年月日
①	校舎	1679.25	6048.00	55仙土第27号(1期)、57仙土第29号(2期)、第93仙土2号(3期)	S55.7.25(1期)、S57.8.25(2期)、H5.6.16(3期)
②	屋内運動場	1039.00	1039.00	55仙土第27号	S55.7.25
⑦	便所	54.72	26.00	55仙土第27号	S55.7.25
⑧	部室1	42.00	42.00	名第189号	S56.4.27
⑨	部室2	19.00	19.00	名第189号	S56.4.27
⑩	プール建屋	39.00	39.00	55仙土第27号	S55.7.25
⑪	ゴミ置場	39.00	39.00	第93仙土2号	H5.6.16
⑫	ポンプ室	26.00	26.00	55仙土第27号	S55.7.25
⑬	物置1	7.00	7.00		
⑭	物置2	16.2	16.20		
⑮	物置3	7.08	7.08		
⑯	武道場	487.20	450.31	第27確認建築宮城山台00001号	H27.4.2
⑰	渡り廊下	47.67	0.00		
⑱	自転車置場A	22.29	44.59	第27確認建築宮城山台00001号	H27.4.2
⑲	自転車置場B	22.29	44.59	第27確認建築宮城山台00001号	H27.4.2
⑳	自転車置場C	22.29	44.59	第27確認建築宮城山台00001号	H27.4.2
既存建物面積		3569.99	7892.36		
⑤	自転車置場3	82.00	82.00		
⑥	自転車置場4	69.00	69.00		
撤去済建物面積		151.00	151.00		
③	自転車置場1	135.66	135.66		
④	自転車置場2	135.66	135.66		
改修建物面積		271.32	271.32		
敷地内建物面積		3992.31	8314.68		
敷地面積			30598.00±2		

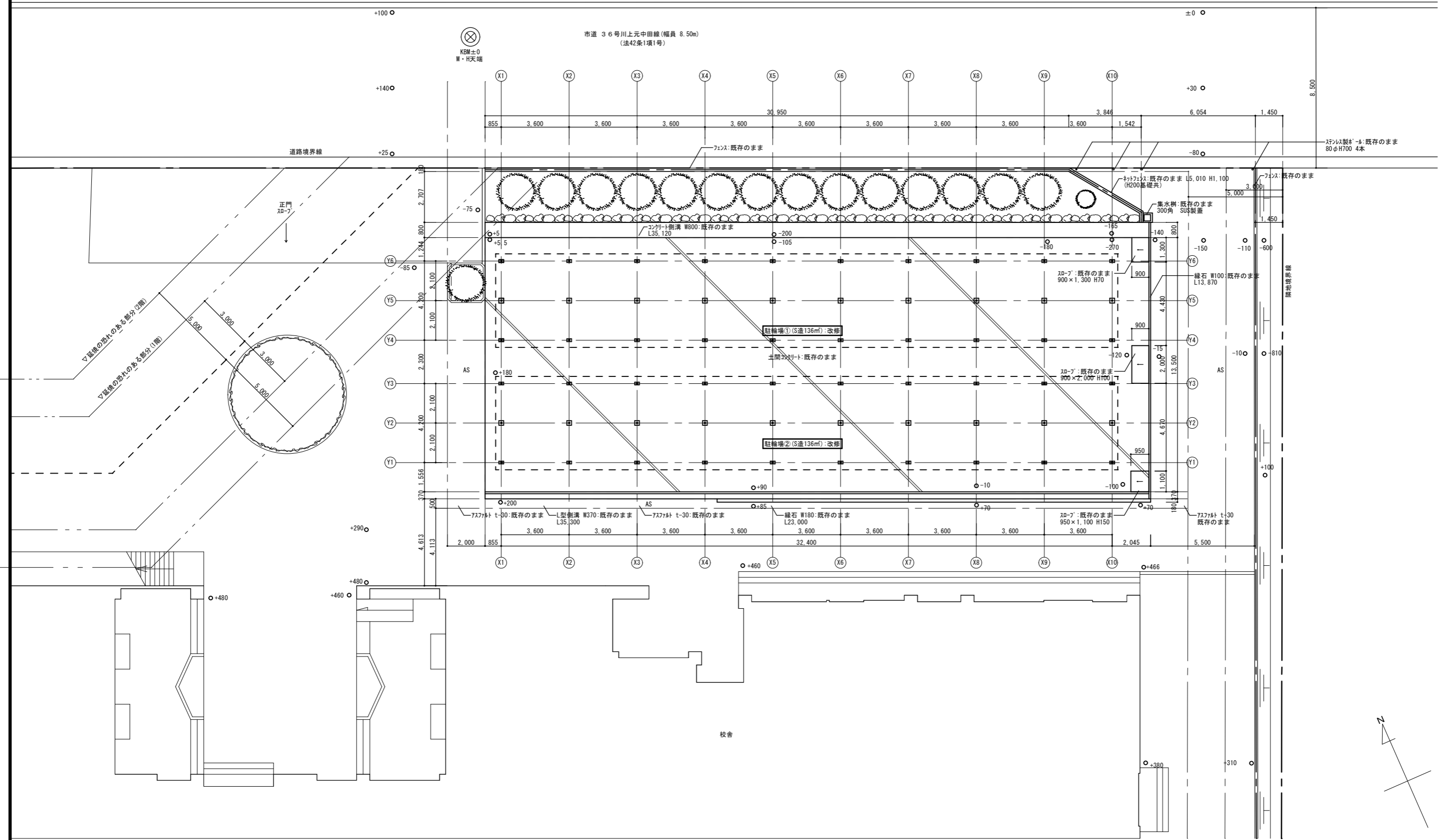


現況図 S=1/500

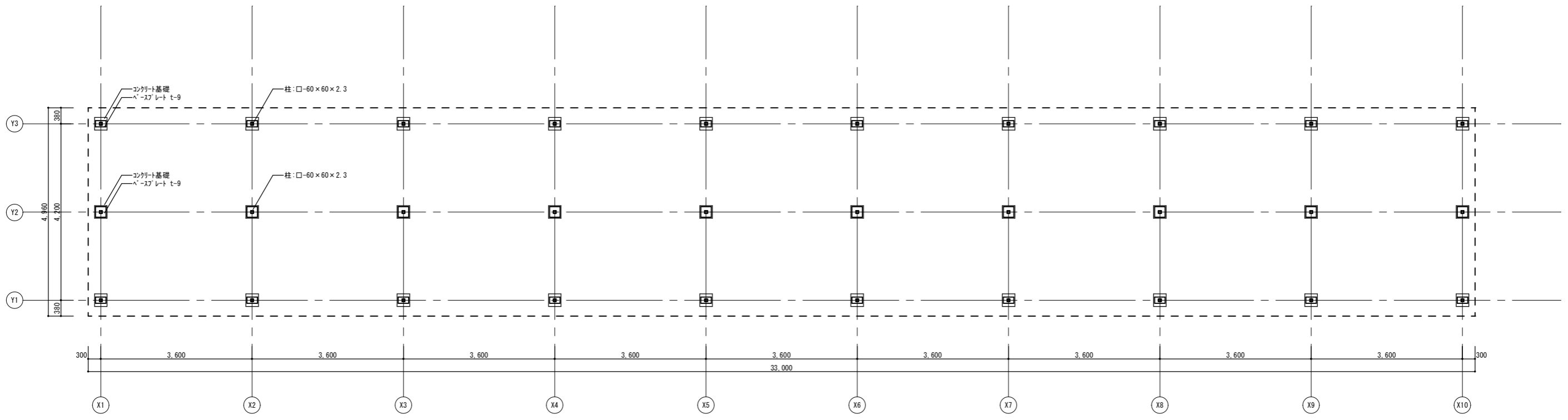
改修建物を示す

凡例	数量
---	57.22m
---	2か所
○	1人

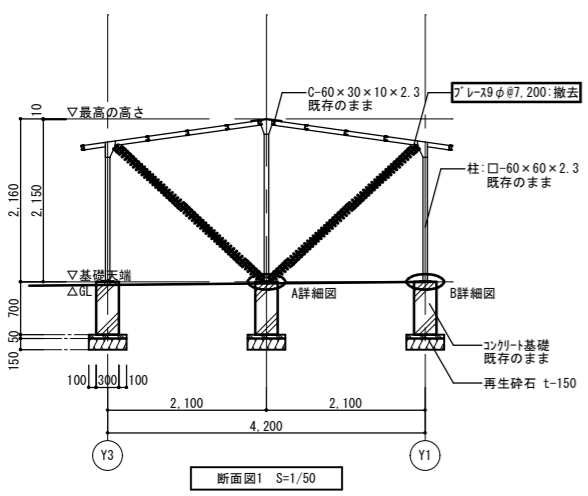
特記事項	設計年月日	工事名	第二中学校校舎修繕業務	図面番号
	管理技術者	担当者	作図	
	図面名	案内図、配置図兼仮設計図	縮尺	A1: 1/500 A3: 1/1000
	株式会社 桂 設計	一級建築士登録 第324846号 長南 京子		A - 03



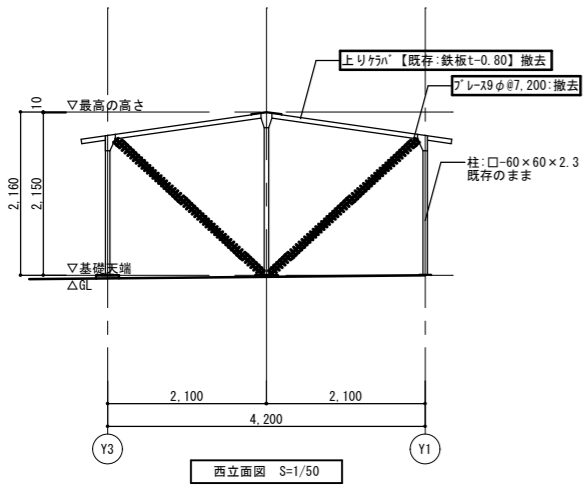
特記事項	設計年月日	年 月 日	工事名	第二中学校駐輪場修繕業務		図面番号
	管理技術者	担当者	作図	図面名	平面図	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200
株式会社 桂 設計			一級建築士登録 第324846号 長南 京子			A - 04



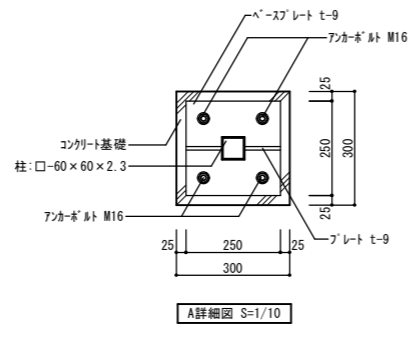
平面図 S=1/100



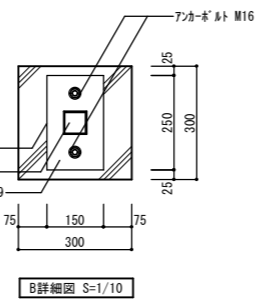
断面図1 S=1/50



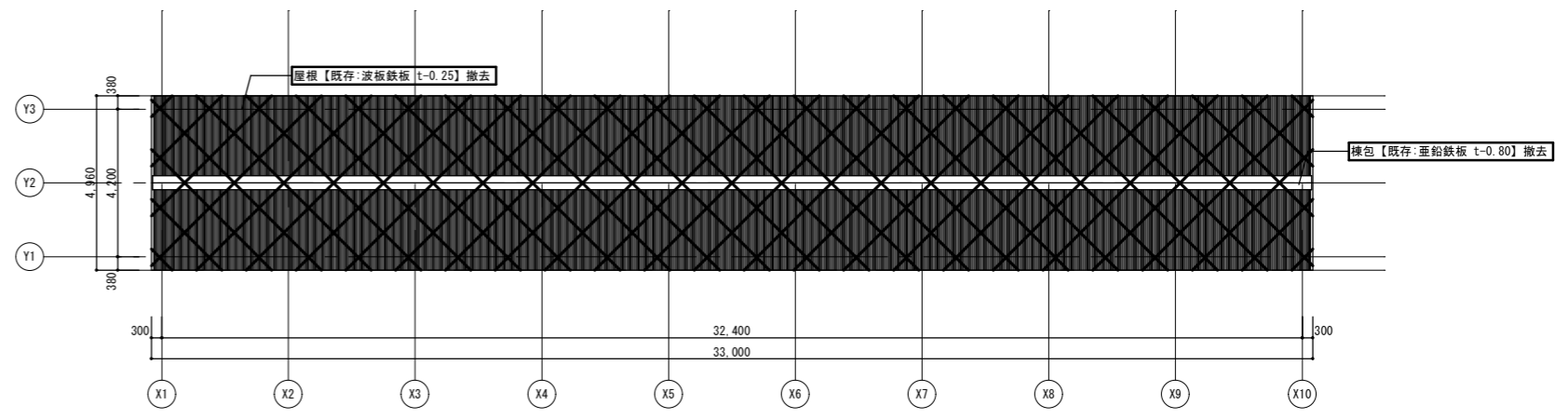
西立面図 S=1/50



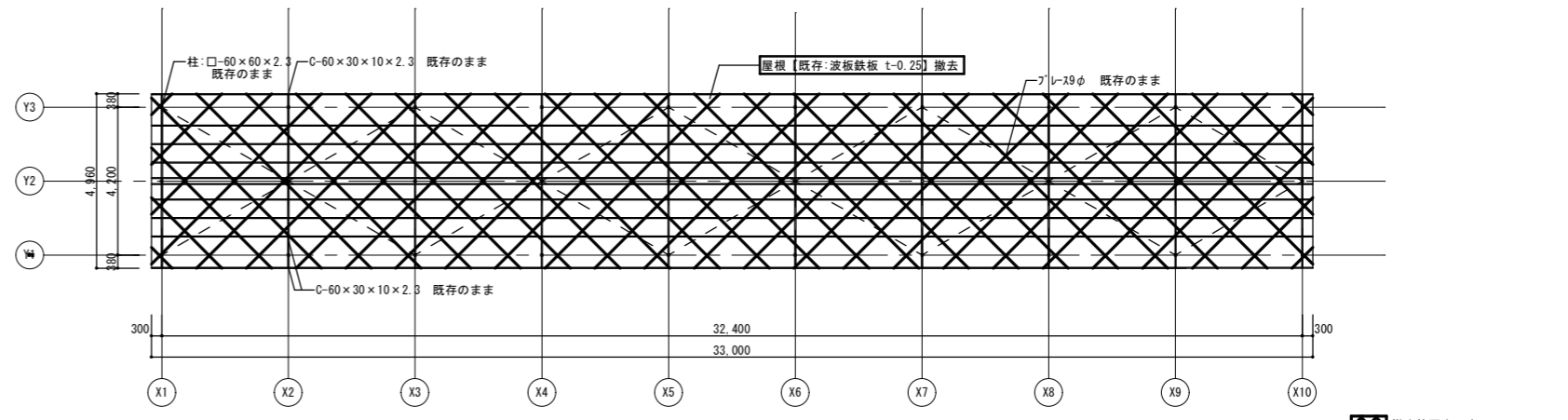
A詳細図 S=1/10



B詳細図 S=1/10



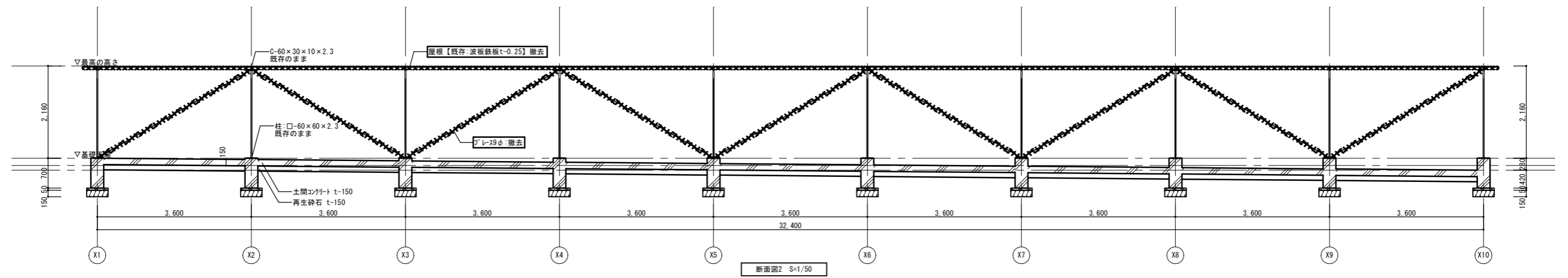
屋根伏図 S=1/100



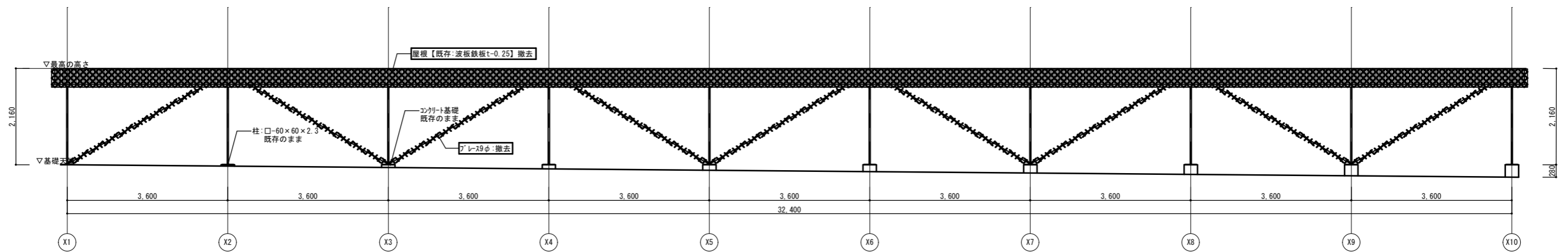
天井伏図 S=1/100

撤去範囲を示す

特記事項	設計年月日	年 月 日	工事名	第二中学校駐輪場改修工事		縮尺	図面番号
	管理技術者	担当者	作図	図面名	【撤去】駐輪場詳細図(1)	A1: 図示 A3: 図示	A - 05
			株式会社 桂 設計		一級建築士登録 第324846号 長南 京子		



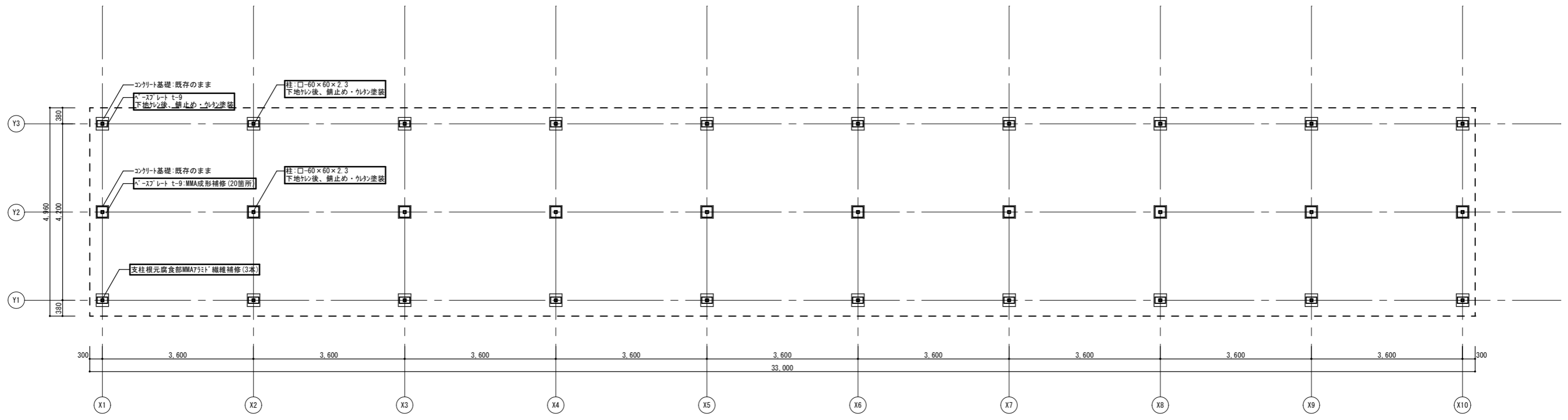
断面図2 S=1/50



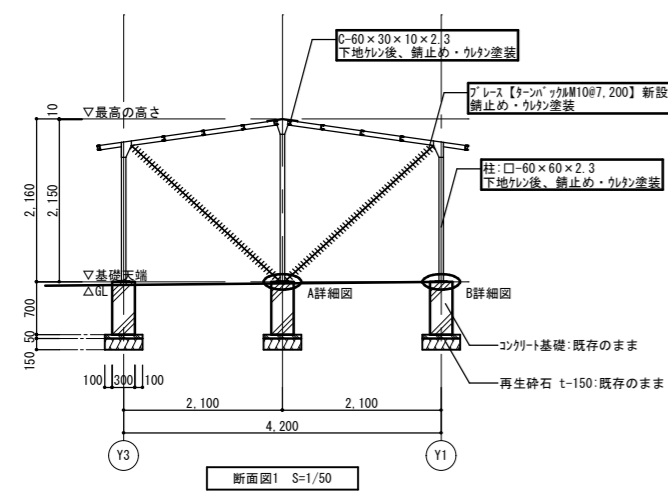
南立面図 S=1/50

撤去範囲を示す

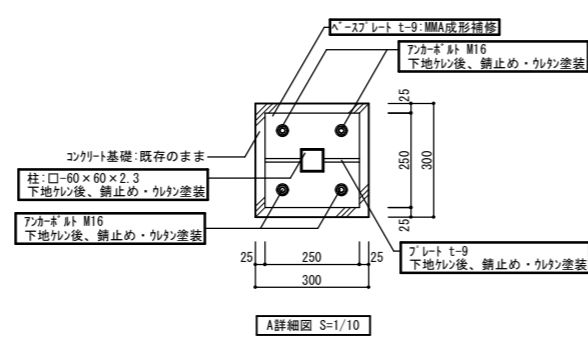
特記事項	設計年月日	年 月 日	工事名	第二中学校駐輪場修繕業務		図面番号
	管理技術者	担当者	作図	図面名	【撤去】駐輪場詳細図(2)	A1: 図示 A3: 図示
	株式会社 桂 設計			一級建築士登録 第324846号 長南 京子		A - 06



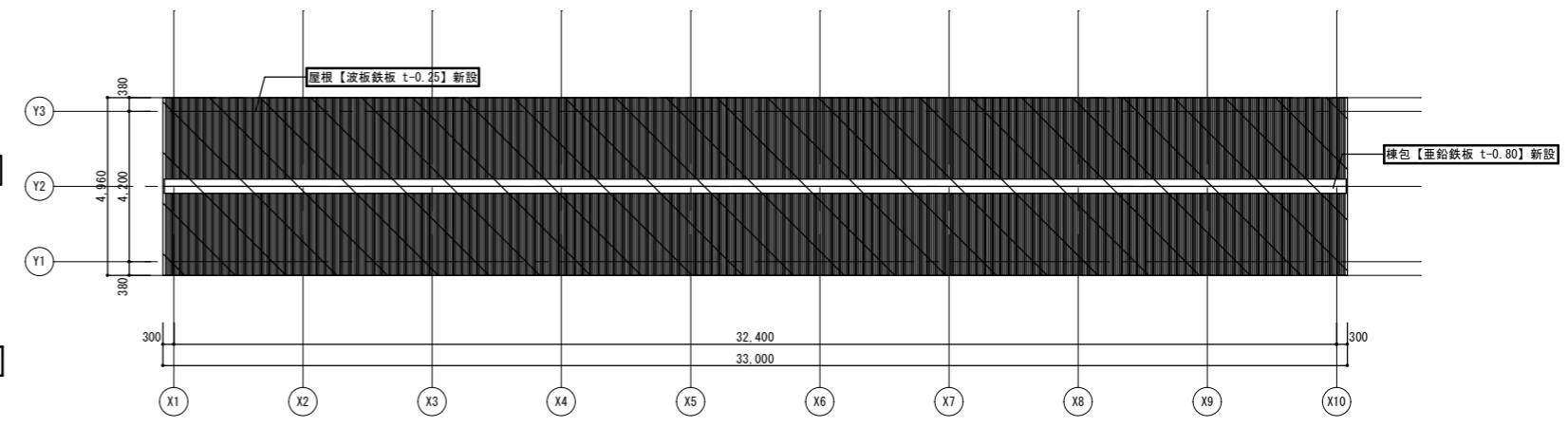
平面図 S=1/100



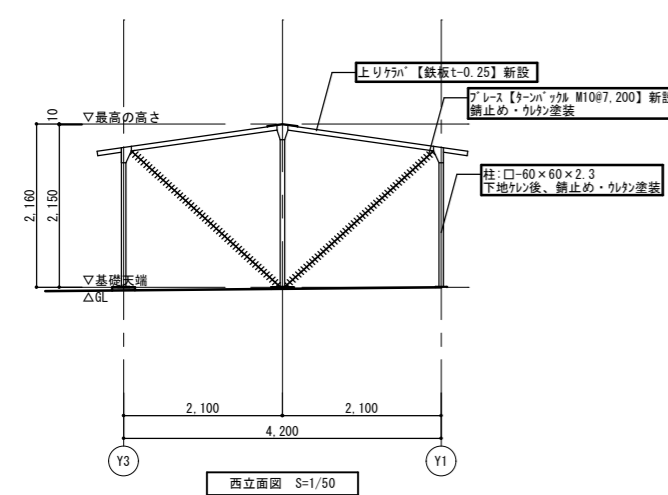
断面図1 S=1/50



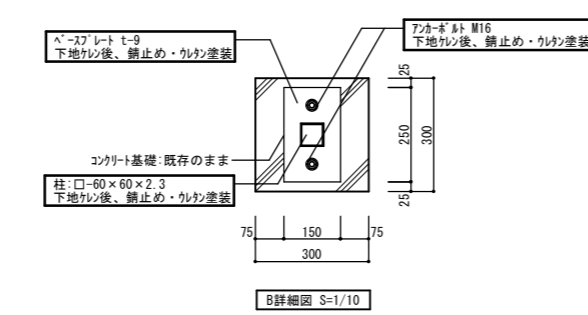
A詳細図 S=1/10



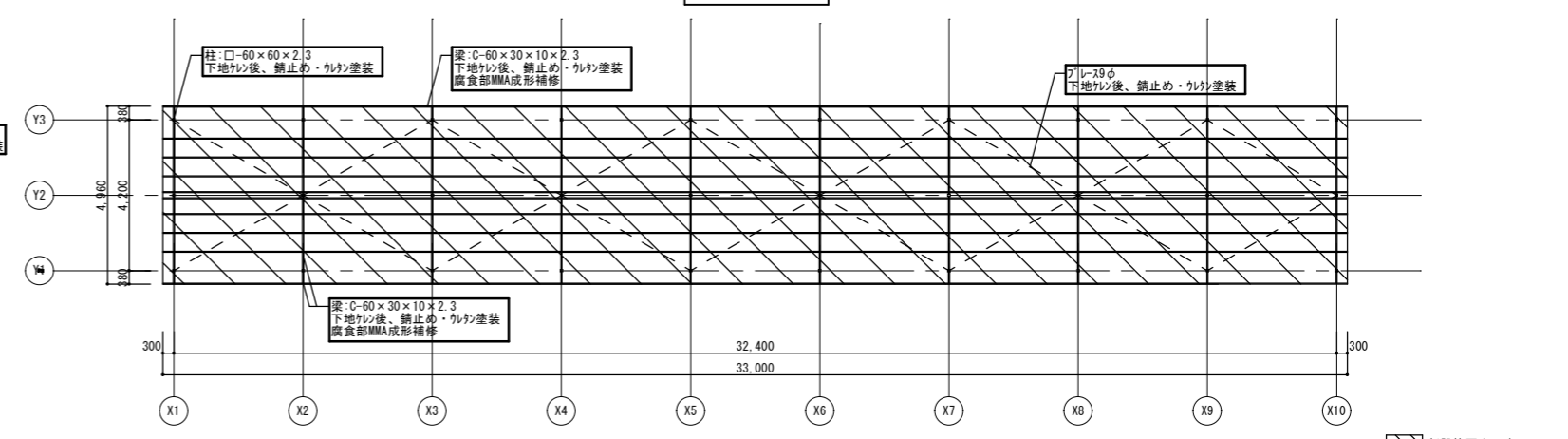
屋根伏図 S=1/100



西立面図 S=1/50



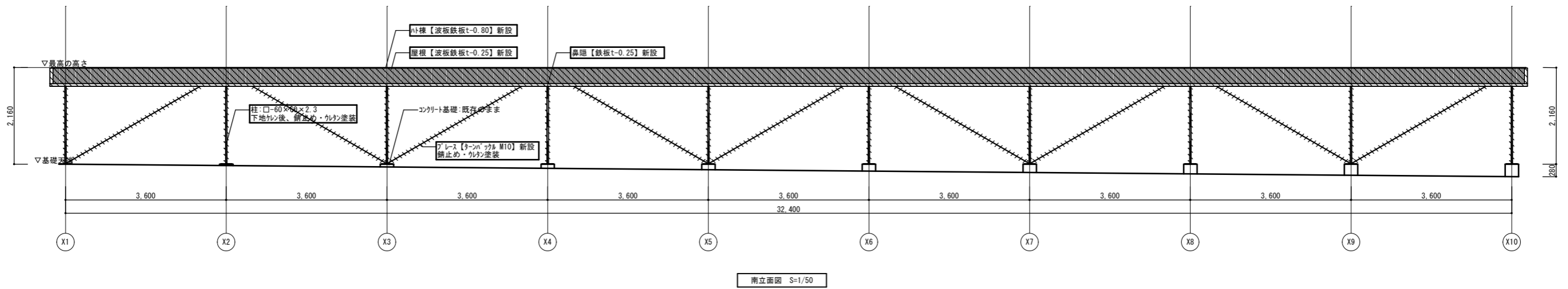
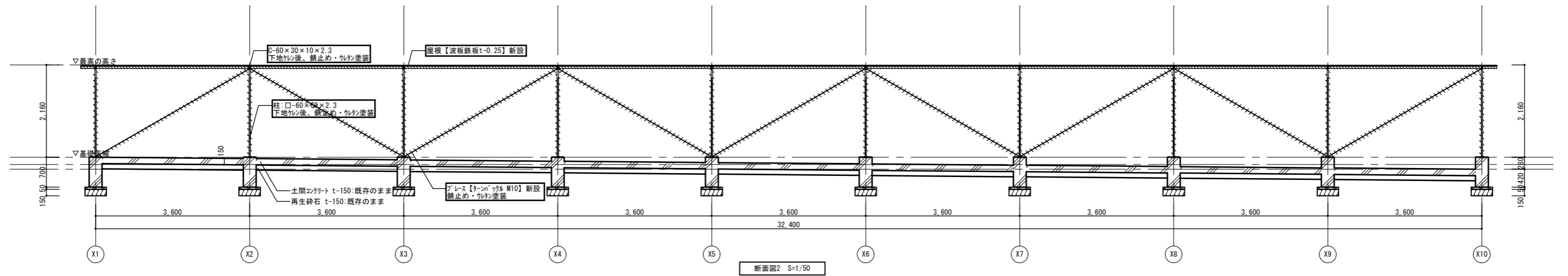
B詳細図 S=1/10



天井伏図 S=1/100

新設範囲を示す

特記事項	設計年月日	年 月 日	工事名	第二中学校駐輪場修繕業務		縮尺	図示
	管理技術者	担当者	作図	図面名	【改修】駐輪場詳細図(1)	A1: 図示 A3: 図示	A - 07
			株式会社 桂 設計		一級建築士登録 第324846号 長南 京子		



新設範囲を示す

特記事項	設計年月日	年 月 日	工事名	第二中学校駐輪場修繕業務		図面番号	A - 08
	管理技術者	担当者	作図	図面名	【改修】駐輪場詳細図(2)	縮尺 A1: 図示 A3: 図示	
			株式会社 桂 設計		一級建築士登録 第324846号 長南 京子		